

Vol.10
まっつん&ハマーの
乳がん検診
掲示板

乳がん検診 Q&A

～まっつん・ハマーの知って得する乳がん検診～

- Q.** マンモグラフィでどんな画像だと精密検査になりますか？
- A.** 判定には「カテゴリー分類」を行います。
カテゴリー3以上の判定で精密検査となります。

カテゴリー	評価内容	癌の確率	以後の方針
1	異常なし	0%	検診にて経過観察
2	所見はあるが、明らかに良性	0%	
3	良性と悪性の判断が付きにくい	5-10%	精密検査の必要性あり
4	悪性所見の可能性が高い	30-50%	精密検査の後、治療方針決定必要
5	マンモグラフィでは明らかに悪性	100%	

日本乳癌学会患者さんのための乳癌診療ガイドラインより

石灰化

マンモグラフィで真っ白な砂粒のように映ります。マンモグラフィは石灰化の検出に優れています。

カテゴリー2

良性の石灰化
丸くて大きめの形です。
単発、あるいは散在して見られます。

カテゴリー5

悪性の石灰化…
非常に小さく、割れたガラス片のような形です。
一部分に集まっています。

腫 瘍

マンモグラフィで白く写る塊です。手に触れない腫瘍は多くあります。

カテゴリー2

良性の腫瘍…
境目がはっきりとした楕円形です。

カテゴリー5

悪性
境目がギザギザで中心に引き込まれるような線が見られます。

カテゴリー判定は「どのくらい癌を疑うのか」の指標とされています。精密検査が必要となるのはカテゴリー3以上の判定です。必ずしも乳がんというわけではありませんので、過度に心配することなく、なるべく早く精密検査を受けましょう。

マンモグラフィ、超音波、それぞれカテゴリー分類をします。マンモグラフィと超音波を併用した場合は総合的に判定します。次回は総合判定のカテゴリー分類を紹介します。